

兵庫保険医新聞

第2110号

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/

2025年8月25日

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

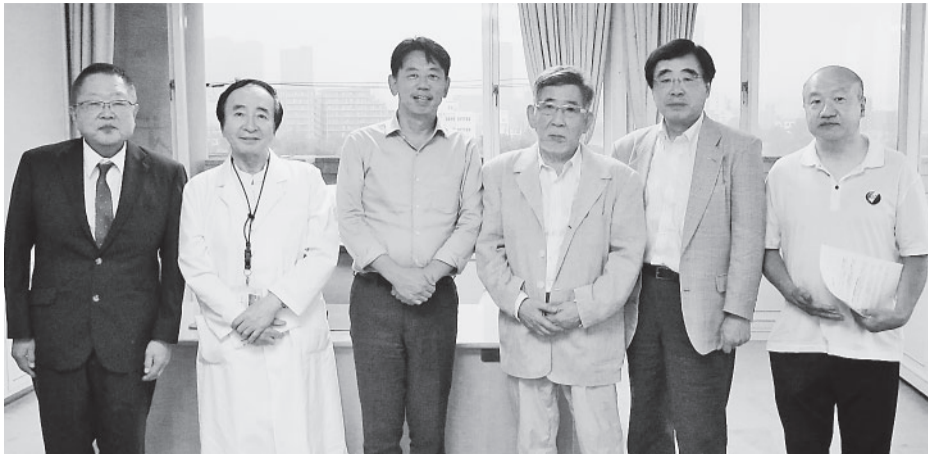
今号の記事

主張「戦後80年 記憶の継承にむけて」 2面

保険請求Q&A「医療DX推進体制整備
加算・在宅医療DX情報活用加算」 4面

研究 保険診療のてびき「慢性腎臓病 (CKD) の
日常管理-保存期から末期腎不全期まで-」 6面

北阪神支部が森臨太郎宝塚市長と懇談



森臨太郎宝塚市長(左3人目)と懇談した、北阪神支部の中井通治支部長(右3人目)、林宗茂(右2人目)・脇野耕一(左2人目)・川村雅之(左端)各副支部長、工藤大八郎幹事(右端)

「資格確認書」全員発行を要望

マイナカード保有者含め

市長「医療現場の実情把握したい」

北阪神支部は7月17日に森臨太郎宝塚市長を表敬訪問し、宝塚市における医療政策等について懇談を実施。中井通治支部長をはじめ、林宗茂・脇野耕一・川村雅之各副支部長、工藤大八郎幹事が参加し、「資格確認書」の国保加入者全員への発行などを実現するよう要望した。

北阪神支部は森市長に対し、当選の祝意を伝えるとともに、宝塚市の医療改善への尽力を要望した。特に、北阪神支部の候補者アンケートで「前向きに検討する」と森市長が当選前に回答していた、保険証の廃止に伴う「資格確認書」の職権発行(プッシュ型発行)について、宝塚市民の円滑な受療行動を確保・保障するうえで、きわめて合理的かつ重要なもので、ぜひ「公約」を実現してほしいと要求した。

森市長は「宝塚市では、保険証をマイナンバーカードに紐づけていない国保加入者の方に、すでに7月に資格確認書を送付した。医療現場で混乱しないように各医療機関で引き続き検討していきたい」と回答した。当日は市長のほか、藤田市民交流部部長、他2名の職員も同席した。

北阪神支部は今後も現場の声を届け、安心して医療が受けられる自治体になるよう市長への働きかけを続けていく。

森市長は「宝塚市では、保

ぜひご参加を!!

もう限界*平和と社会保障を立て直せ!

9・25いのちまもる総行動

9月25日(木) 13時~14時30分

(終了後、東京駅までパレード)

東京・日比谷野外音楽堂

ゲスト ザ・ニューズペーパー

主催:「もう限界*平和と社会保障を立て直せ! 9・25いのちまもる総行動」実行委員会

ご参加希望の方は、☎078-393-1807 までご連絡ください



厚生省・国会議員に要請を行う森岡副理事長(右2人目)ら

災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会(全国対連)と保団連は7月31日、能登半島地震被災者の医療費窓口負担と介護利用料減免が、石川県で6月末に打ち

切られた問題で、厚生労働省交渉と国会議員要請行動を実施。被災者減免の全額国庫負担による復活を要請した。行動には森岡芳雄保団連理事・兵庫協会副理事長、香月直之全国対連事務局長、石川長、保団連事務局、石川協会事務局ら6人が参加した。

石川協会が5月から7月に実施した県内被災者アンケート(n=508)の結果に基づき、窓口負担・介護利用料が復活すれば、治療・利用を中断するとの回答が8割を

超えており、健康と命が脅かされていることを紹介。「死にたい」「孤独死を待つ」との回答もあり、今後、震災関連死が増えかねない危険な状況だと、森岡副理事長が医療費負担免除の復活を訴えた。何よりの矛盾は、国は9月末まで窓口負担減免の継続とその費用の8割負担方針を維持しているにもかかわらず、石川県と基礎自治体側が、減免財源の2割負担に耐えられないと判断して国保と後期高齢者の免除措置を打ち切ったこと。対象被保険者が少ない石川県協会けんぽ、富山県

た。この運動の中心を担った住職の塚本真如さんに昨年夏に本紙でインタビューしたことをきっかけに、今回のコンサートが実現した。塚本さんの寺院も地震で全壊、塚本さんを含めた被災した地域住民は今も仮設住宅での暮らしを続けている。

当日は兵庫協会の森岡芳雄副理事長・伊賀幹二理事・広川恵一顧問が訪問。広川顧問が、このころと身体を健康に保つための栄養・水分等の十分な摂取の重要性とその摂り方を、ユーモアを交えながらお話し。

民族音楽家のロビン・ロイドさんは、笛やカリンバ、尺八、タンバリンといった世界各地の楽器を紹介しながら演奏。参加者も配られた楽器を手に、共に音楽を楽しんだ。

小川淳也衆議院議員(立憲)の秘書・坂本氏は、国の責任で被災者減免を復活させるべきと応じた。小池晃参議院議員、堀川あきこ衆議院議員、仁比聡平参議院議員(いづれも共産)は、被災者の命と健康、暮らしを守るため、なんとしても国の責任で減免措置の復活を超党派で実現したい、とした。

に、特定の国籍や民族の人々に対する排他的な言動が散見される。こうした風潮は決して看過できない。これは個人の尊厳を傷つけるだけでなく、社会全体の健全性を蝕む病理に他ならない▼わが国は生産年齢人口の減少に直面し、特に医療や介護現場では、外国人材の活躍なくしては維持が困難な状況も少なくない。彼らは単なる「労働力」ではなく、共に地域社会を支える文化を豊かにする、かけがえのない「仲間」だ。言語や文化の壁を乗り越え、懸命に貢献してくださる同僚や、不安を抱えながらも日本の医療を頼って来られる患者さん一人ひとりの姿を見るたびに、共生社会の実現こそが私たちの未来に不可欠と確信する▼私たちは、すべての人の生命と健康、そして尊厳を守ることを誓った専門職だ。その誓いは国籍や人種によって揺らぐものではない。むしろ、多様な背景を持つ人々が安心して暮らせる環境を築くことこそ、公衆衛生の向上にも繋がる重要な責務である。診療を通じて、社会の縮小もいえる多様な人々と向き合っているからこそ、医療現場から率先して、相互理解と尊重の精神を発信していくべきではないだろうか▼排外主義的な言動に対しては沈黙ではなく明確に「否」と声を上げ、分断ではなく連帯を選ぶ。その一つひとつの行動が、より健全で寛容な社会を築く礎となると信じている。保険医として、そして一人の人間として、誰もが尊重される共生社会の実現に向けて、共に歩んでいきたい。(眞)

能登半島地震被災者・被災地と連帯

6月末で打ち切りの窓口負担・介護利用料減免は復活を

森岡副理事長(保団連理事)が国へ要請

対峙した厚生省保険局国保課企画法合係の久保田氏は、免除終了はあくまで保険者(自治体)の判断としながらも、現場の状況を把握して過去の経過を踏まえて適切に対応してゆくと回答した。

共に行きたい。(眞)

石川県珠洲市でコンサート&二こころと身体のお話

能登半島地震被災者・被災地と連帯

参加者皆に楽器を配って、一緒にリズムにあわせて演奏

兵庫協会が継続している被災地への訪問活動の一環として実施したもの。高屋地区は1970年代に原発建設計画が持ち上がったが住民の粘り強い反対運動により凍結され

た。この運動の中心を担った住職の塚本真如さんに昨年夏に本紙でインタビューしたことをきっかけに、今回のコンサートが実現した。塚本さんの寺院も地震で全壊、塚本さんを含めた被災した地域住民は今も仮設住宅での暮らしを続けている。

燭心

NSを中心、特定の国籍や民族の人々に対する排他的な言動が散見される。こうした風潮は決して看過できない。これは個人の尊厳を傷つけるだけでなく、社会全体の健全性を蝕む病理に他ならない▼わが国は生産年齢人口の減少に直面し、特に医療や介護現場では、外国人材の活躍なくしては維持が困難な状況も少なくない。彼らは単なる「労働力」ではなく、共に地域社会を支える文化を豊かにする、かけがえのない「仲間」だ。言語や文化の壁を乗り越え、懸命に貢献してくださる同僚や、不安を抱えながらも日本の医療を頼って来られる患者さん一人ひとりの姿を見るたびに、共生社会の実現こそが私たちの未来に不可欠と確信する▼私たちは、すべての人の生命と健康、そして尊厳を守ることを誓った専門職だ。その誓いは国籍や人種によって揺らぐものではない。むしろ、多様な背景を持つ人々が安心して暮らせる環境を築くことこそ、公衆衛生の向上にも繋がる重要な責務である。診療を通じて、社会の縮小もいえる多様な人々と向き合っているからこそ、医療現場から率先して、相互理解と尊重の精神を発信していくべきではないだろうか▼排外主義的な言動に対しては沈黙ではなく明確に「否」と声を上げ、分断ではなく連帯を選ぶ。その一つひとつの行動が、より健全で寛容な社会を築く礎となると信じている。保険医として、そして一人の人間として、誰もが尊重される共生社会の実現に向けて、共に歩んでいきたい。(眞)

共に行きたい。(眞)

共に行きたい。(眞)

共に行きたい。(眞)



笛を吹くロビン・ロイドさん



参加者皆に楽器を配って、一緒にリズムにあわせて演奏

主張

今年には戦後・被爆80年にあたる年となる。先の戦争はずでに「記憶」から「歴史」へ変わりつつある、とはよく言われるが、80年といえは、ほぼ人の一生に相当する年月であり、確かに当時の戦争を実際の体験として記憶し語れる方々は、どれだけ若く見積もっても、80代後半以上の年代となっている。

先日の日本世論調査会の報告でも、日中戦争と太平洋戦争を「戦争体験を含め直接知っている」と答えた人はわずか3%に留まり、戦争体験者の記憶の新たな継承は年々困難になりつつある現状がある。

その一方、希望を見出すことのできる調査結果もある。日本財団が戦後80年を

テーマに行った「18歳意識調査」では、全体の95%が太平洋戦争に関する学習経験があると答え、印象に残った学習内容に関しては3人に2人が「学校での授業の内容」を挙げた。このこと。また、戦争を題材にした記憶に残る書籍や映画では、「火垂るの墓」が40%

を超えトップに、「はだしのゲン」がそれに次いだという結果だった。これからの日本が目指すべき国づくりについての質問(重複回答)には、2位の「経済に強い国」、3位の「災害に強い国」を抑え、4割以上の回答者が「自由で平和な国」をあげ

ていた。戦後80年、記憶の継承にむけて

1位となった。戦後80年の平和教育の成果が、今でも根強く認められる結果ではないだろうか。

会員の多くも、子ども時代から現在に至るまで、様々な書籍や映像などで、先の戦争が招いた数々の悲劇を知ったのではないだろうか。その中には、戦争経験者自身が残したのもあれば、戦争の記憶を受け継いだ戦後世代の手によるものもあつた。

それらを通じて語られる戦争は、悲しみや怒り、怯え、恐れ、悼みの感情とともに、戦争をしていない時代に生きていくことのありがたさ・尊さを、改めて実感させる機会となってきた。

原文感想

原水爆禁止国民平和大行進

小さな声を集め 平和な世界につなげよう

日本全国から広島へ、核兵器のない世界を訴えて歩く「国民平和大行進」(本紙7月25日号既報)。7月11日に明石市内を行進した榎林歯科職員岡本有理子氏の感想を紹介する。

2022年2月にロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始し、今も戦闘が続いており罪のない多くの人々が避難生活を余儀なくされています。ウクライナ戦争の行方を見通せないまま、2023年10月パレスチナ・イスラエル戦争が勃発しイスラエル・ガザでも戦禍が広がり世界は混沌の中にあると言えそうです。

一人ひとりの小さな声が見て、日本もいつかこうなるのかな…と心配するわが子たちを見て、今二つの戦争の時代の世界に生きていくわれわれの責任を痛感しています。

われに何ができるのかを考えた時に、核兵器廃絶や恒久平和を訴え、国民として声を上げることができ、国民平和大行進に参加することが平和を守るためにできる一つのことだと思いませんか。

被爆・戦後80年の節目の年ということもあり、核兵器廃絶と被爆者援護と平和な世界の実現を願う人々の声が日本国内及び世界に届き、当たり前のように世界に伝わり、世界となるように祈りを込めたいと思います。

一人ひとりの小さな声が集まれば、平和な世界を実現するためにできることを考えた時、小さい頃からの教育もとても大切だと感じます。いじめる人間、いじめられる人間、止める人間、傍観する人間…同じ人間なのに何故ここまで違ってくるのでしょうか。小さな頃から人に思いやりを持って接すること、人の温かさを知ること、すぐ攻撃するのではなくまず話し合うこと…が身に付いていれば、小競り合いはあっても、命に関わるような大きな揉め事になることは少ないのではないのでしょうか。

い、減点事例について回答を得たこと等が報告された。

「ネット社会の危うさと医療のかかわり」分科会・ポスターセッションの演題募集、特別講演「健康格差の縮小は可能か?」(講師・近藤克則 千葉大学名誉教授)。

「平和な世界」実現のために少しでも役立つと信じて。【明石市・榎林歯科 職員 岡本有理子】

参議院選挙の結果について

自公政治への厳しい審判

診療報酬増と「消費税減税」実現を

兵庫県保険医協会 政策・運動・広報委員会

2025年7月に実施された参議院選挙は、長年続いてきた自公政権の政治姿勢と政策に対する国民の不信と怒りが示された重要な転機であった。自民・公明の与党が参議院で過半数を割った結果は、政権が進めてきた政治に対する厳しい審判である。

第一に、物価高騰や社会保障の切り捨てが進むなか、消費税減税など国民の生活に向き合う誠実な政策はほとんど見られず、困窮と格差が拡大している。第二に、外交・経済政策において、日本政府は

対米従従の姿勢を改めず、トランプ米大統領による日本製品への関税交渉においても、何ら有効な対抗軸や外交的交渉戦略を示せていない。これは経済主権の喪失に等しく、国民経済を脅かす深刻な事態である。第三に、裏金問題など、自民党の金権体質は、政治に対する信頼を著しく損なってきた。

こうした不満は、与党の後退だけでなく、参政党を含む非既成政党の伸長というかたちでも現れた。参政党が展開する排外主義的・差別的な主

張は、フェイクニュースや不安煽動を基盤とし、民主主義を揺るがす危険性を孕んでいる。さらに深刻なのは、こうした極端な主張に、自民党、維新の会、国民民主党などの既成政党までもが引つ張られること、全体として政治の右傾化と劣化が進む可能性をほらんでいる点である。

医療や社会保障といった公共政策の分野でも、人権や公平性の観点よりも、感情的・排他的な論理が幅を利かせ始めていることを、私たちは強く懸念している。

なかでも、維新の会や国民民主党が主張する「社会保障料の引き下げ」は、国民皆保険制度の維持可能性を危うくするだけでなく、若者と高齢者の対立を煽るかたちで世代

間分断を生み出すものである。これは、社会保障の本来の趣旨に反するものであり、日本社会の統合を脅かす極めて問題のある主張である。医療・介護現場では、慢性的な人材不足と診療報酬の抑制が続いており、さらなる低医療費政策は制度崩壊に直結しかねない。


もともと、今回の選挙戦において、医療や社会保障の充実か、それも軍事費の拡大・軍拡かという国家的根本的なあり方を問う重大な争点があり、十分に国民的な議論となり得なかったことは、きわめて残念である。物価高や生活不安が広がるなかでこそ、限られた財源をどこにどう配分するかという問題は、本来、民主主義の根幹にかかわる重要な論点であるべきであっ

た。しかし、防衛予算の増大が既定路線とされる一方で、医療や社会保障への公的支出を抑制し続ける政策の是非が、正面から問われる機会が乏しかった。こうした状況を踏まえ、今後は国民的な議論の深化が求められる。

保険医のための医薬品、医療材料、医療機器の共同購入事業

M&D保険医ネットワーク

■協会会員の開業医はどなたでもご利用OK。
 ■40年の歴史と実績をもつ大阪府保険医協同組合が母体となって運営し、医薬品・医療器材・歯科器材・生活関連商品を数多く取り扱っています。
 ■ご注文は電話、FAX、Webオンラインから。
 ■Webサイトから、最新の取扱商品・価格がご覧いただけます。利用方法はお問い合わせください。
 URL <http://e-mdc.jp/>
 ■ご利用者・ご希望者の協会会員には、1カ月に1回「medical net」(共同購入案内)をお送りします。



M&D保険医ネットワーク ☎06-6568-7159

理事会 スポット

◇出席 24人

◇情勢 2013〜15年に政府が物価下落を口実に行った生活保護費引き下げについて、最高裁は「物価動向のみ考慮し生活実態を無視したの違憲」と判断。厚労相の裁量逸脱を指摘した。

◇医療運動対策 ①参院選対策として、新リーフレットの普及状況(総計1万1300部)、保険医新聞特集企画、②診療報酬対策として、木下芳一県立ほりま姫路総合医療センター院長の講演会企画等が報告された。

◇医療活動報告 基金審査委員会への審査改善懇談(7/10、参加:西山理事長、宮武副理事長・審査対策部長、清水理事・審査対策部員)を行

い、減点事例について回答を得たこと等が報告された。

◇日常診療経験交流会実行委員会(10/26、メインテーマ「ネット社会の危うさと医療のかかわり」)分科会・ポスターセッションの演題募集、特別講演「健康格差の縮小は可能か?」(講師・近藤克則 千葉大学名誉教授)。

◇国際部 「参議院選挙にあたり排外主義の煽動に反対するNGO緊急共同声明」に、協会として賛同することが了承された。25年9月大野市医師会主催「学術大会」での講演依頼等が報告された。

◇社保協 ①県社保協会費執行、②第54期定期総会で口分田副理事長が同会会長に選出されたことが報告された。

◇庶務部 平井裕子事務局主任と平田雄大事務局次長の20年永年勤続が表彰された。(7月12日理事会より)

国際部共催・パレスチナ子ども救済基金(PCRF)講演会 命の危機にあるパレスチナの子どもたちへ医療を

国際部長 水間 美宏



PCRFと主催・共催団体メンバーで

子どもを海外に避難させ医療を行っている。講演前のバザーにはパレスチナの刺繍や石鹸や菓子の販売コーナーや、パートナーであるMSF(国境なき医師団)のブースもありました。アラブ音楽の演奏のあと、フランス・オプ・パレスチナ神戸の須本エドワード氏のあいさつがあり、共催した兵庫県保険医協会も紹介されました。

PCRFL理事長で弁護士のビビアン・カルフ氏は、636日続くジェノサイドにより1万8千人以上の子どもが殺され、4万人以上が孤児となり、6万人以上の子どもが餓死の危機にあると述べました。

PCRFL理事長で弁護士のビビアン・カルフ氏は、636日続くジェノサイドにより1万8千人以上の子どもが殺され、4万人以上が孤児となり、6万人以上の子どもが餓死の危機にあると述べました。PCRFL理事長で弁護士のビビアン・カルフ氏は、636日続くジェノサイドにより1万8千人以上の子どもが殺され、4万人以上が孤児となり、6万人以上の子どもが餓死の危機にあると述べました。

国際部は7月5日、パレスチナ子ども救済基金(PCRF)が、フランス・オプ・パレスチナ神戸や寄付・フォー・パレスチナとともに行った講演会を共催した。講演会には120人が参加した。国際部長の水間美宏先生の報告を紹介する。

7月5日に大阪大学中之高センターで、PCRFL(パレスチナ子ども救済基金)の来日講演会がありました。PCRFLは1991年に設立され、パレスチナに子ども病院をつくることに、必要なら子どもを海外に避難させ医療を行っている。

PCRFL理事長で弁護士のビビアン・カルフ氏は、636日続くジェノサイドにより1万8千人以上の子どもが殺され、4万人以上が孤児となり、6万人以上の子どもが餓死の危機にあると述べました。

PCRFL理事長で弁護士のビビアン・カルフ氏は、636日続くジェノサイドにより1万8千人以上の子どもが殺され、4万人以上が孤児となり、6万人以上の子どもが餓死の危機にあると述べました。

PCRFLへ寄付される方は左の二次元コードからお願います。



保団連近畿ブロック 歯科診療報酬改善要請 基本診療料の大幅引き上げを 歯初診の施設基準なくすべき

保団連近畿ブロックは、7月31日に歯科診療報酬の改善を求め厚労省要請を行った。兵庫協会からは、川村雅之副理事長・歯科部長、水野良司理事が、大阪歯科協会からは吉田裕志、平尾清司副理事長が参加した。厚労省は保険局医療課、和田康志歯科医



厚労省の田上課長補佐(中央)に要請書を手渡した川村雅之・兵庫協会副理事長(左2人目)・水野良司理事(右端)ら

療管理官、新任の田上真理子課長補佐が応じた。前回の昨年10月に要請した22項目を基本に、歯科現場から寄せられた声をまとめた会員アンケートを、兵庫協会、奈良協会から追加提出し意見交換した。急進的なDX化が高齢医師の廃業を招き地域医療を脅かしている。閉院も早まっている。地域医療提供体制の維持のためにも基本診療料の大幅引き上げが必要。歯初診の届出は実質100%だ。院内感染対策研修は医療法でも定められており行っている。歯初診の施設基準はなくすべき」と訴えた。また、CAD/CAM冠材料(Ⅲ)の適用に関する複雑な要件撤廃、低点数で赤字

療管理官、新任の田上真理子課長補佐が応じた。前回の昨年10月に要請した22項目を基本に、歯科現場から寄せられた声をまとめた会員アンケートを、兵庫協会、奈良協会から追加提出し意見交換した。急進的なDX化が高齢医師の廃業を招き地域医療を脅かしている。閉院も早まっている。地域医療提供体制の維持のためにも基本診療料の大幅引き上げが必要。歯初診の届出は実質100%だ。院内感染対策研修は医療法でも定められており行っている。歯初診の施設基準はなくすべき」と訴えた。また、CAD/CAM冠材料(Ⅲ)の適用に関する複雑な要件撤廃、低点数で赤字

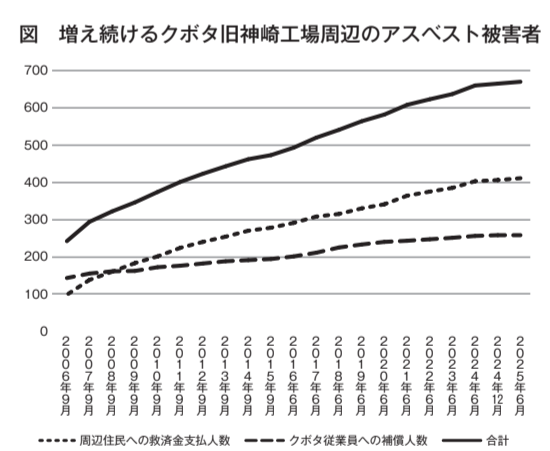
厚労省は、「現場の先生方のご意見を伺えるのはありがたい」「歯科矯正相談2については、第13部の歯科矯正に該当しているかどうかのなかで、疑い病名でも算定できる」「各要望を実現するには財源の確保が必要であり、限られた財源の中ですべての要望に一度にこたえるのは難しいが、なんとか現場の先生方にとって良い改定になるように頑張りたい」と述べた。

厚労省は、「現場の先生方のご意見を伺えるのはありがたい」「歯科矯正相談2については、第13部の歯科矯正に該当しているかどうかのなかで、疑い病名でも算定できる」「各要望を実現するには財源の確保が必要であり、限られた財源の中ですべての要望に一度にこたえるのは難しいが、なんとか現場の先生方にとって良い改定になるように頑張りたい」と述べた。

厚労省は、「現場の先生方のご意見を伺えるのはありがたい」「歯科矯正相談2については、第13部の歯科矯正に該当しているかどうかのなかで、疑い病名でも算定できる」「各要望を実現するには財源の確保が必要であり、限られた財源の中ですべての要望に一度にこたえるのは難しいが、なんとか現場の先生方にとって良い改定になるように頑張りたい」と述べた。

“クボタショック”20年 増え続ける 尼崎アスベストの被害者 無料健康・法律相談会のご利用を

8月5日に同社が公表した住民への救済金支払いは412人で、従業員への補償は59人と合わせて671人に達している(下図)。



アスベスト健康・法律相談会

(無料・予約不要)

日時 10月4日(土) 14時~16時
会場 潮江診療所
(尼崎市下坂部1-7-7、☎06-6499-4213。バス停「下坂部」2分、JR尼崎駅15分。駐車場有)

※日常的に電話相談も受け付けています
(☎06-6489-2600)

会員訃報

古閑 次夫先生
須磨区 耳鼻咽喉科
5月18日 享年83歳

中山 千里先生
尼崎市 眼科
8月2日 享年88歳

ご冥福をお祈り
申し上げます

同社は工場から飛散したアスベストと住民死亡の因果関係を、国は産業政策としてアスベスト使用を推奨してきた責任を認めないため、正確な疫学調査が行われず被害の全容が明らかになっていない。こうした中、協会尼崎支部

が参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会(尼崎の会)」の相談活動では、ある日突然中皮腫と診断され、闘病の末亡くなるケースが見られる。アスベストは20年~50年もの長期間の潜伏期間を経て発症すること

が特徴で、今後被害が拡大することが予想されている。「尼崎の会」は、潜在化している住民も含めた全ての被害者の救済のため、国とクボタの責任を明確にして被害者への十分な補償、尼崎市に対して市外に転居した住民も含

めた継続した肺がん検診を受けられる仕組みづくりなどを求めている。「尼崎の会」では健康・法律相談会(左上に案内)を行う。患者さんや知り合いの方にご案内いただきたい(尼崎市外の方もどうぞ)。

この講習会に参加し、全部床義歯の臨床に対する見方が大きく変わった。印象採得においては、粘膜の動きを忠実に反映させる

印象採得では、「ただ上下顎の関係を記録するのではなく、咬筋や表情筋の動きを観察し、自然な咀嚼運動と調和する咬合位を見極める」とい

また、排列法については、審美性と機能性の両立が強調され、咀嚼効率を高めるため

【南あわじ市・歯科 西中 英伸】

歯科定例研究会 今井先生の 義歯への愛に触れて

歯科部会は7月27日、協会「機能印象法」の重要性を学会議室で定例研究会「リンゴ丸かじりができる」全部床義歯と安定義歯(すっぽんデンチャー)の紹介と製作法・臨床編(科学に裏付けられた理論に基づく再現性ある製作法)を開催。千葉県くみょう今井歯科医院・理事長の今井守夫先生を講師に、58人が参加した。西中英伸先生の感想を紹介する。

特に、精密な個人トレーの設計、辺縁封鎖の工夫、印象材の流れ方・固まり方まで計算された技術、そして患者の協力を引き出す会話術まで、実践的かつ再現性のある手法にたいへん感銘を受けた。

また、排列法については、審美性と機能性の両立が強調され、咀嚼効率を高めるため

全工程を通じて、「患者の残存機能を信じ、それを引き出すことこそが本物の義歯製作である」という今井先生の愛と哲学が貫かれていた。今後は今回得た知識と技術を自らの診療に落とし込み、患者にとって本当に「噛める喜び」を提供できる全部床義歯を目指していきたい。



安定する全部床義歯の製作手技を詳しく紹介する今井先生

の白歯排列、自然な笑顔を引き出す前歯の位置決めなど、患者満足度を高める細かな工夫が随所に見られた。装着時にも、咬合調整の最終仕上げだけでなく、義歯に対する患者の心理的な受容プロセスに配慮する姿勢に、真の臨床家の姿を見た思いだった。

北阪神支部 吟行俳句会

感想文 緑眩し小林二三の 愛した邸宅で

北阪神支部は7月6日に文 化企画「吟行俳句会」緑眩し 小林二三の愛した邸宅で...



岡本先生(中央奥)から俳句の講評を受ける参加者

異常に早い梅雨明けとともに、猛暑を伺う戦後80年の夏...

総勢15人、緑陰恋しい炎天 下の中、万緑の夏木立の庭で...

【川西市・歯科 堀池 周司(俳号麟炎)】 お腹も満たされた後は、タ...

ヤープラザへ移動 し、雲雀社主宰・岡本(俳号品川純胡)...

選者品川純胡先生吟 遠嶺より郭公の声人我亭...

緑陰の中に佇む記念館 苔の花木根に添いてそっと咲き...

神戸支部 研究会

感想文 健康問題と密接にかかわる 気候変動問題へ関心を

神戸支部は7月26日、協会 会議室で研究会「異常気象と 地球温暖化」を開催...

先日、兵庫県保険医協会神 戸支部主催の森朗氏による...

また、地球温暖化の原因が 人為的な活動、特に温室効果...

講演会を通して、健康問題 と密接に関わる気候変動につ...

【長田区・田中診療所 職員 田中安津子】



温暖化の進行と気候変動の発生について、データを 分かりやすく見せながら解説した森氏

特に印象的 だったのは、

益でした。

この問題への理解を深めても らうための啓発活動にも貢献

医科・歯科保険請求 Q and A



〈医療DX推進体制整備加算・在宅医療DX情報活用加算〉

- Q1 医療DX推進体制整備加算(医療DX)のマイナ保険証利用率は10月以降どのように変わるか。 A1 2025年10月及び2026年3月に基準が引き上げられます...

表 今後のマイナ保険証利用率の引き上げ

Table with 4 columns: 医療DX, 現在, 2025年10月~, 2026年3月~. Rows include various medical and dental services with their respective utilization rates.

Large advertisement for the Association's Mutual Aid System. It features a central logo '協会の共済制度' and several service boxes: '秋の共済募集 9/1受付開始!', '介護保険Sasa*L', '医師賠償責任保険', '休業保障制度 + 所得補償保険', '自動車保険、火災保険', '医療保険、ガン保険'. It also includes contact information: '078-393-1805'.

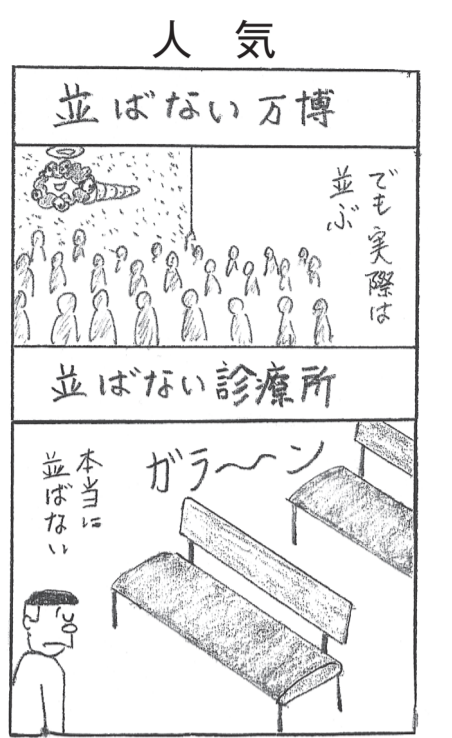
投稿員会

日本の医療・介護は「国の基幹産業」という視点が大事

西宮市 半田 伸夫

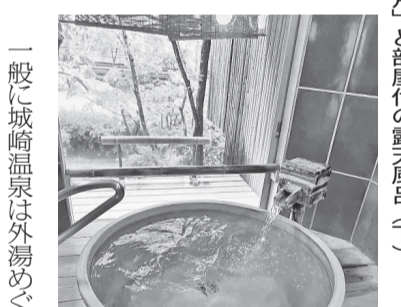
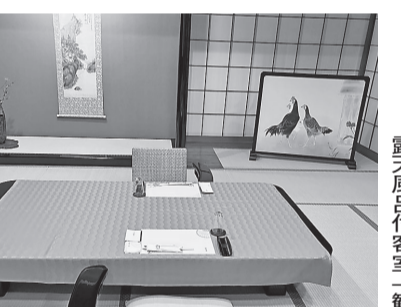
産業構造は、科学技術の発展と、社会構造の変化によりさまざまに変化している。19世紀の産業革命以前は主に農業などの1次産業が中心であったが、産業革命以降は工場労働者、賃金雇用者が生まれ、製造業の2次産業、その後小売業や飲食店などのサービス業を中心とした3次産業が盛んとなった。現在は情報産業と金融が産業の中心となっている(第4次産業)。残念ながら情報と金融産業は実態経済を活性化させることは難しい。確かに金は流通するかもしれないが、資産家に富が集中するだけである。経済はヒトの消費と、通貨の流動によって支えられている。ケインズによると経済は雇用と投資、貨幣の流動によって動いているとした。現在の日本では医療、介護分野の雇用者は全就業人口の約15%を占めている。地方ではより高い割合である。今後その需要は2050年ごろまでは確

会投稿 ホイホイ漫画(74) 長田区 ぼん太with T.T.



（前号からのつづき）今回宿泊した平田館の露天風呂付き客室「観月」は全館の一番奥の一階にあり、広縁の窓の外には美しい池庭園を持つ。富岡鉄斎の掛け軸、森守明の画と思われる衝立が飾られ、時絵を施された漆塗りの卓がでんと置かれ風格を演出している(写真)。本館に露天風呂付き温泉大

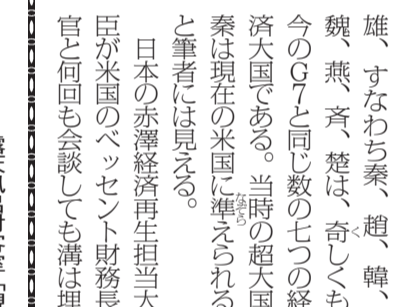
前田達生のほっこり湯宿旅(45) 城崎温泉 西村屋本館(中)



露天風呂付き客室「観月」と部屋付の露天風呂(下) 天風呂(温泉)と岩盤浴の森のプライベートスパのシャパニーズ「吟月」、バリニーズ「FURO」、チャイニーズ「林泉」や、リラクゼーションサロン「風香」がある。西村屋本館には露天風呂付き客室が7室、半

「ゆめば」や街頭マップなどが無料で用意されている。 【西区 前田 達生】

合従連衡(史記) 陳呉(陳勝・呉広の反乱) 王侯将相寧ろぞ種あらんや トランプ関税が8月から始まった。米国第一主義(Lake America Great Again (MAGA))の超大国と先進国G7(米英仏独日伊加)との貿易関税に関して、今から約2500年前の中国と少し似た状況にある。所謂戦国の七

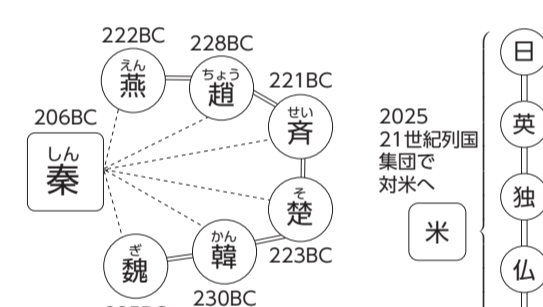


雄、すなわち秦、趙、韓、魏、燕、齊、楚は、奇しくも今のG7と同じ数の七つの超大国である。当時の超大国秦は現在の米国に準えられると筆者には見える。日本の赤澤経済再生担当大臣が米国のベッセント財務長官と何回も会談しても溝は埋

まらぬ。小田原評定か、踊るウィーン会議の如く長引き、米国はトランプのその時々気分での別々に25〜50%の関税をG7の他の6カ国に押し付けて高圧的態度を執る。トランプの気分が変化し、15%に落ち着いたが、日本から巨額の対米投資を強いられ、収益の90%を米国が得る。そんな対米投資をするくらいなら日本国内の格差、貧困、医療費に使うべきだ。

弱者は団結し群れを為す。歴史は繰り返す。人類は同じ過ちを繰り返している。トランプ関税の圧迫に対する対抗策は他の6カ国、即ち弱い物

中国古典に学ぶ その7 明石市 永本 浩



した(合従策)。しかし残念なことに途中で蘇秦は斉で暗殺された。その結果、秦は張儀(前309)の「連衡策」を執り、他の6カ国に個別の圧力を掛け次々に軍力で亡ぼした。秦は前221年に中国を統一したが、李斯(前208)の法治主義による苛酷な圧政に耐えきれず民は反乱を起した。それが中国最初の農民反乱である陳勝・呉広の乱だが、それに続く反乱によりわずか15年で秦は亡んだ。

米国の一辺倒(毛沢東論文による言葉)はそろそろやめるべきである。独立国の日本が外国の大統領(King)に振り回されるなどという姿は真の独立国ではない。属国である人間は自分の経験でなく歴史に学ぶということだ。

同じが団結(蘇秦の合従策)をするのが最も良い方法ではないか。 大國秦はわずか15年で亡んだ。超大国米国の一極集中もそう長くは続かないだろう。米国は世界中から嫌われている。中国やインド等も実力をつけ、米国の悪あがきに従う必要がなくなった。同じ民主主義国である英国やEUなど日欧の共同戦線で米国に対抗すべきであろう。すでに英国とは文化面でも共同戦線が徐々に進んでいる。

温泉成分 申請者：豊岡市城崎町桃島1057-1 城崎町湯島財産区管理者豊岡市長 湧出地：豊岡市城崎町湯島御茶屋ノ上1582番地の1(鴻の湯の横)(27号、28号、29号、30号の四源泉からの温泉水を混合したタンクから採水) 泉質：ナトリウム・カルシウム・塩化物泉(低張性、中性、高温泉) 泉温：58.4℃(気温9.1℃) 湧出量は混合泉のため測定せず 知覚試験：無色、透明、無臭、塩味を有する pH：6.98(試験室で6.99) 試験室での密度：1.0019 ラドン(Rn)：18.3Bq/kg ナトリウムイオン：1030mg/kg、カリウムイオン：47.9mg/kg カルシウムイオン：457mg/kg、塩化物イオン：2300mg/kg 炭酸水素イオン：53.4mg/kg、メタ珪酸：86.7mg/kg 遊離二酸化炭素：9.4mg/kg 源泉温度が高いため水道水を加水。加温なし。入浴剤の利用なし。衛生管理のため電解次亜塩素酸ナトリウムで消毒あり。濾過装置を使用して循環式。

環境・公害対策部 視察会 明石川流域PFAS汚染 学習会&視察会 日時 9月7日(日)14時~16時30分 参加費 無料 集合 14:00明石商工会議所5階小会議室(JR・山陽明石駅北側) 学習会(30分)→明石川取水地や西区押部谷・藤原橋付近等→16:30明石駅で解散予定 ※マイクロバスで移動予定。 案内 PFAS問題を考える西区有志の会 松本 勝雄氏 お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807 事務局・小西まで

保険診療 のてびき

-777-

慢性腎臓病(CKD)の日常管理 —保存期から末期腎不全期まで—

医療法人社団一陽会服部病院
腎臓内科部長・透析センター長 西 慎一先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

はじめに

かつて腎機能の低下状態を慢性腎不全(chronic renal failure)と呼称していた。2000年を過ぎて米国より慢性腎不全をchronic kidney disease(CKD)と呼び変える提案がなされた。慢性腎不全の定義が曖昧でありCKD症例は各国の国民病であることから、定義を刷新し疾病対策の確立を図る点に提案目的があった。

実はrenal(腎)という用語は英語圏の人にも馴染み薄く、kidney(腎)が馴染み深いことからCKDが提唱された。これを日本腎学会が慢性腎臓病と訳し、日本国内でも疾病対策を確立し、国民啓発、検診の普及、ガイドラインの発表を目指すこととなった。

CKDの定義

CKDの定義は、腎機能マーカーである糸球体濾過量(GFR)が60ml/分/1.73m²未満、and/orタンパク尿陽性の状態である。しかもこの病態が3カ月以上持続することが条件である。一過性に腎機能が低下する脱水や薬剤障害による腎機能低下を除外する目的がある。広義には、この他に血尿陽性、腎形態異常、腎結石、腎癌などの泌尿器科的疾患が持続している場合もCKDに含める。

実際の臨床現場では高血圧、糖尿病、糸球体腎炎によるCKD発症が多い。また加齢によってもCKDは発症する。

腎臓の解剖学的特徴とGFR

腎臓は通常2腎ある。大動脈から血液が腎動脈を経て腎内に入り、糸球体という毛細血管構造にたどり着く。

糸球体は直径0.2mmの球形毛細血管の塊であり、毛細血管壁を利用して血液から尿を濾過する。糸球体数は両腎合わせて約200万個ある。

糸球体に入る血管は輸入細動脈、また糸球体から出ていく血管は輸出細動脈である。毛細血管が二つの細動脈に挟まれており、入口と出口の圧調節により一定の濾過ができるよう生体調節機構が働く構造となっている。全糸球体による単位時間当た

りの濾過量が糸球体濾過量(GFR)である。

CKDの重症度分類

二つの指標GFRと蛋白尿の程度によりCKDの重症度分類が提示されている。GFRが低下するほど重症度が高く、蛋白尿が悪化するほど重症度が高くなる。重症度とは末期腎不全に至るリスクのみならず、心血管系疾患発症、それに伴う死亡リスクも指す。

CKDと心血管系疾患 その他の全身性疾患

CKDの発症背景に腎内と全身の動脈硬化が関与する。加齢とともに動脈硬化が進行するが、高血圧、糖尿病があるとより動脈硬化は進行する。動脈硬化が進行すると腎臓への血流低下が起きGFRが低下する。また、虚血に陥った糸球体はつぶれ(糸球体硬化)、糸球体数が減少する。糸球体に続く尿細管は濾過された尿を調節する器官である。塩分、糖、カリウム、カルシウム、リン、尿酸、貧血、酸塩基平衡物質の調節を尿細管は行っている。糸球体硬化が起きると尿細管も萎縮し機能を失う。

CKDが進行すると単にGFRが低下するだけでなく、尿細管による代謝調節機構が障害を受ける。そのため、心臓・脳血管系疾患、骨・筋肉疾患などが発症しやすくなる。

また、GFRの低下により尿毒素が血中に蓄積する。尿毒素の中でもインドキシル硫酸は酸化ストレスにより血管壁を傷害し、動脈硬化を悪化させる。

さらに、CKDが進行すると血中リンが上昇する。リンも血管壁平滑筋を傷害し血管石灰化を助長する。

CKD進行の予防

CKD進行の予防に関して、日本腎臓学会がガイドライン¹⁾あるいはガイド²⁾を発表している。表1にポイントをまとめた。

一番には高血圧管理である。特に糖尿病や蛋白尿陽性が認められる症例では、一段と厳しい血圧管理が求められる。糖尿病症例では良好な血

表1 慢性腎臓病の日常管理 CKDの悪化予防策

管理項目	対応とその目的	高齢者	
高血圧	糖尿病なし/タンパク尿なし	140/90mmHg未満	高齢者 150/90mmHg未満
	糖尿病なし/タンパク尿あり	130/80mmHg未満	150/90mmHg未満
	糖尿病あり	130/80mmHg未満	150/90mmHg未満
糖尿病	HbA1c	6.5%未満	高齢者 7.0%未満
塩分摂取		6.0g/日未満	3.0g/日以上 血圧低下
カリウム摂取	eGFR<45ml/min/1.73m ² 未満	2000mg/日未満	高カリウム血症回避
	eGFR<30ml/min/1.73m ² 未満	1500mg/日未満	高カリウム血症回避
メタボリックシンドローム		回避	動脈硬化の予防
肥満		回避	動脈硬化の予防
喫煙		回避	動脈硬化の予防
アルコール		20g/日未満許容	適度であれば精神的緊張緩和
コーヒー		1日 1~2杯は許容	適度であれば精神的緊張緩和
歯周病		加療/ケアが必要	フレイル・死亡率低下
便秘		乳酸菌摂取 繊維質摂取	健全な腸内細菌叢維持
感染予防		ワクチン接種	腎機能悪化抑制
水分摂取		1日 1.0~1.5L摂取	脱水予防
睡眠		1日 6~8時間	交感神経系抑制
運動		適度な運動	交感神経系抑制

文献1、2より著者作成

糖管理が重要である。

食事に関しては、減塩(1日6g未満)と適切なタンパク制限が必要である。タンパク制限はリン制限につながる。CKDが進行すると高カリウム血症に陥り易くカリウム制限も必要である。肥満とメタボリックシンドロームもCKD発症の危険因子である。体重管理は極めて重要である。

その他、禁煙、アルコール制限、歯周病ケア、便秘対策、感染症予防もCKDの発症及び進行抑制に重要である。これらの予防策はいずれも体内の動脈硬化進展を抑制することにつながる。

適切な薬剤使用もCKD進行の予防に繋がる。夏季脱水時の利尿薬、降圧薬、ビタミンD製剤はGFR低下を起こしやすい。その他、GFR低下に合わせた抗菌薬や抗腫瘍薬の投与がGFR低下予防となる(表2)。

CKDの治療薬

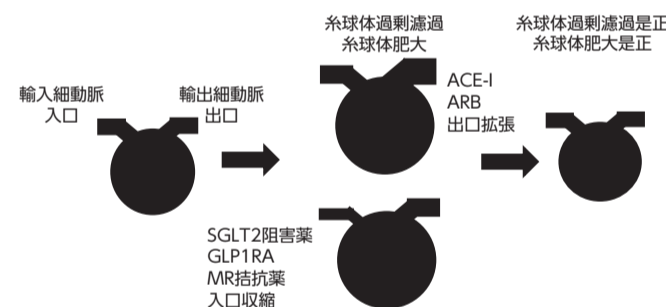
CKDの治療薬として、ACE阻害薬・アンジオテンシン受容体遮断薬(ARB)、SGLT2阻害薬、GLP1受容体作動薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MR拮抗薬)が有効とされている。これらの薬剤はいずれも糸球体過剰濾過を抑制しGFR低下速度を緩徐にする。

CKDの進行とともに傷害を受けた糸球体が硬化する。すると残存糸球体が過剰に濾過を行い肥大する。ACE阻害薬とARBは糸球体出口の輸入細動脈を拡張させ、SGLT2阻害薬、GLP1受容体作動薬、MR拮抗薬は糸球体入口の輸入細動脈を収縮させる(図1)。

表2 腎機能(eGFR)低下を起こしやすい薬剤と関連背景状況

薬剤種類	eGFR低下を起こしやすい背景状況
利尿剤	夏場、下痢、食欲不振
降圧薬	夏場の過降圧、過剰な塩分制限
ビタミンD	脱水時の高カルシウム血症
NSAIDs	過剰・長期投与、脱水時投与
抗菌薬	過剰投与 腎機能に合わせた薬剤調節不備
抗がん薬	過剰投与 腎機能に合わせた薬剤調節不備

図1 糸球体過剰濾過現象への対応
糸球体内圧を下げる各種薬剤の作用



このような機序で糸球体内圧を下げ、糸球体過剰濾過を抑制する。これにより腎機能低下(GFR低下)の進行が遅くなる。ただし、内服開始直後に、糸球体過剰濾過が一気に是正されるため、一過性にGFRが低下する現象がみられる。いずれの薬剤も介入研究でその有効性が証明されている。

末期腎不全の対応 透析と移植

GFRが10ml/分/1.73m²未満となると血液透析、腹膜透析あるいは腎移植を受ける必要がある。現在日本の末期腎不全患者の平均年齢は70歳である。高齢者が多く、腹膜透析と腎移植は受ける人が少ない。血液透析は週3回、1回4時間の通院が必要である。高齢者にとって、つらい治療となっている。今後、高齢化のため透析患者は減少すると見込まれている。

文献

- 1) エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023. 日本腎臓学会編集, 東京医学社, 2023.
- 2) CKD診療ガイド. 日本腎臓学会編, 東京医学社, 2024. (5月10日、薬科部研究会より)

ISR Intelligent Social Reliance アウトソーシング サポート

社会保険労務士

ISR 梨本

働き方改革策定
労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合 経営者会議
概算確定・労災特別加入

合同会社(LLC法人)

ISR パーソネル

副業推進支援
人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports
シニア躍動・企業健康経営

株式会社

アイ・エス・アール

データセンター ISR
レセプト管理・情報デザイン

ISR サテライトオフィス
リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

ISRグループ 🔍 検索

〒650-0026 神戸市中央区古湊通1丁目2番 (ISRビル)
(業務案内) TEL 0120-366-761





兵庫県保険医協会

これからの研究会・行事のご案内

9月の診内研

第625回診療内容向上研究会

無料

お腹の漢方フィジカル ～腹診を日常診療に応用する～

日時 9月13日(土) 午後5時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室
講師 医療法人社団恵生会 竹山病院 内科 中野 弘康先生
※講師来場でのご講演です。

来場定員 50人
※現地参加は必ず事前にお申し込みください。
お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

慢性的にお腹が張る、お腹が痛い、下痢が続く、便秘が辛い…などの症状を訴えて外来を受診する患者さんは多いです。話を聞いてみるとすでに器質的疾患は除外されていて、機能的消化管疾患の診断で西洋薬が投入されているものの、依然として症状は改善されず…。患者さんのみならず担当医も困ってしまう。そんな場面に遭遇したことはありませんか？機能的消化管疾患はガイドラインを片手に治療しても行き詰ってしまう疾患の代表例だと思います。そこで漢方の使用を検討してみませんか。患者さんの体質や証を把握するために、フィジカルの一つとして腹診を行ってみることをお勧めします。西洋薬で改善されなかつたつらい腹部症状が改善される姿をみると医師冥利に尽きます。つらいお腹の症状で悩んでいる患者さんを少しでも楽にできる方法を一緒に考えましょう。【中野 記】

Zoom視聴のお申し込み

申し込み 右のURLまたは二次元コードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://x.gd/MX0ha>



来場参加

FAX 078-393-1820

医院経営研究会 第454回例会

医療機関のリーダー育成 ～チームワークをさらに強める～

日時 9月27日(土) 午後2時30分～5時30分
会場 兵庫県保険医協会 6階会議室(オンライン併用)
講師 トータル人事・労務オフィス代表 嶺山 洋子 特定社会保険労務士
参加費 3,000円(医経研会員は無料) \ 入会随時受付 /

Zoom視聴のお申し込み

申し込み URLまたは二次元コードからお申し込みください。
<https://tinyurl.com/3th9tjk5>



来場参加 FAX 078-393-1820

歯科勤務医のための開業実現セミナー

理想の歯科医療を実現する新規開業

日時 10月5日(日) 午前10時～正午
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室
参加費 会員2,000円 会員外6,000円 ※当日入会の場合は2,000円
第1部(10時～) 私の開業体験 開業医の診療と経営の実際
ヨット歯科医院(明石市) 院長 山本 雄介先生
第2部(11時～) 開業コンセプトの策定と開業地選定のポイント
エニータイムヘルスケアコンサルティング(株)
マネージャー 細羽 雄太氏

お問い合わせは

兵庫県保険医協会歯科部 ☎078-393-1809 吉永まで

お申し込み FAX 078-393-1802

今後の研究会・行事予定

診療内容向上研究会

【第626回】

テーマ 浮腫のみかた2.0(仮)
日時 10月11日(土) 午後4時30分～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 大船中央病院 須藤 博先生

その他 研究会・セミナー

薬学部 研究会

テーマ 糖尿病食(仮)
日時 10月4日(土) 午後4時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 神戸市立医療センター中央市民病院栄養管理部 副部長 岩本 昌子先生
参加費 1,000円(会員無料)

環境・公害対策部 公害視察会

集合 9月7日(日) 午後2時 明石商工会議所集合
行先 明石川流域(明石リサイクルセンター、明石川浄水場など)
案内人 松本 勝雄氏(PFAS問題を考える西区有志の会)

県下各地の行事

【明石支部】 医院継承セミナー(医科向け)

テーマ ①成功する！医業継承の進め方・ポイント、
②診療所継承－実際に診療所の譲渡を実行した際の体験談
日時 8月30日(土) 午後3時～
会場 アスピア明石北館8階学習室801
講師 ①総合メディカル(株)西日本継承支援部 市岡 寛也氏
②話題提供 増田 章吾先生
定員 25人

【淡路支部】 第47回総会記念講演

テーマ 開業医の今後のあり方－「かかりつけ医」機能強化制度にもふれて－

日時 9月13日(土) 午後3時45分～(総会議事:午後3時～)
会場 洲本市文化体育館1階
講師 ニッセイ基礎研究所保険研究部 上席研究員
ヘルスケアリサーチセンター・ジェロントロジー推進室 兼任 三原 岳氏

【神戸支部】 研究会

テーマ 医院の魅力伝えるネット・AI活用術
－ホームページ活用、口コミ、AI対策、SNS、YouTube活用－
日時 9月20日(土) 午後3時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 ㈱日本経営メディアキャスト事業部 河村 伸哉氏

【北摂・丹波支部】 医療安全対策研修会

テーマ ワンランク上の患者対応－ケーススタディで学ぶ－
日時 9月20日(土) 午後3時～
会場 三田市キッピーモール6階多目的ホール
講師 マネジメントコンサルタント 松田 幸子氏
費用 1,000円(受講証を発行)

【姫路・西播支部】 第40回総会記念講演

テーマ 開業医のためのChatGPT入門－明日から使える実践テクニック
日時 9月27日(土) 午後3時～
会場 じばさんびる602会議室(オンライン併用)
講師 近畿大学医学部皮膚科学教室主任教授 大塚 篤司先生

【淡路支部】 専門医に聞く開業医でここまで診てほしい(シリーズ第6回)

テーマ 糖尿病性腎症について初歩から学ぶ
日時 9月27日(土) 午後2時30分～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 しおかぜ診療所 大阪市・早石病院内科 岡野 理江子先生

【北摂・丹波支部】 第37回支部総会・記念講演

テーマ 健康者への嚔下障害予防トレーニング
日時 10月11日(土) 午後6時～(総会議事午後5時30分～)
会場 三田市キッピーモール6階講座室
講師 神鋼記念病院耳鼻咽喉科科長 浦長瀬 昌宏先生

【西宮・芦屋支部】 第45回支部総会市民公開講演

テーマ 災害時にも安心できるトイレ環境づくり－トイレで困る人を減らすために－
日時 10月18日(土) 午後2時30分～
会場 西宮市プレラホール
講師 日本トイレ研究所代表理事 加藤 篤氏

【神戸支部】 第46回支部総会・記念企画

テーマ 依存症と共に生きる
日時 10月18日(土) 午後3時～(総会議事午後2時30分～)
会場 兵庫県保険医協会5階会議室
講師 山口 達也氏
ミニ講演 日常診療で依存症かな？と思ったら
講師 長田区・にじハートクリニック 大谷 夏実先生

【北阪神支部】 第40回支部総会記念講演

テーマ いつまでもいきいき元気に！
－健康寿命を延ばす簡単筋トレ法－
日時 10月25日(土) 午後3時15分～
会場 東リ いたみホール6階中ホール
講師 順天堂大学スポーツ健康科学部教授 谷本 道哉先生

兵庫県保険医協会 これからの研究会・行事のご案内

歯科定例研究会

地域のつながりで進める 食支援のかたち

～在宅医療におけるICTを用いた多職種連携に触れながら～

日時 9月28日(日) 午後2時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 香川県・まんのう町国民健康保険造田歯科診療所 木村 年秀先生

会員/
無料

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み <https://x.gd/kXjcj>



来場参加 FAX 078-393-1802

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号-を記載の上、研究会前日までにhyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

薬学部研究会

全ての薬剤師に知ってほしい 心不全治療の基本

～チーム医療で挑む心不全パンデミック～

日時 9月27日(土) 午後4時～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 神戸大学大学院 循環器内科学分野 准教授 田中 秀和先生

参加費 1,000円

会員/
無料

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み <https://x.gd/oz1AS>



来場参加 FAX 078-393-1820

歯科定例研究会

歯周組織再生療法を 成功に導くために

日時 10月5日(日) 午後2時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 尼崎市・石川歯科医院 石川 亮先生

会員/
無料

再生療法は付着の喪失を改善し、歯が再び機能する助けとなる唯一の治療法であるため、医療者と患者の双方にとって、魅力的な治療法と言える。しかしながら、その効果には症例によるばらつきや不確実性が伴う。より良い臨床結果を得るには、医師だけが知識や技術を有していれば良いのではなく、患者のセルフケア、衛生士による術前・術後管理、継続的なメンテナンスなど、様々な要因が結果に影響を与えるため、クリニックのチーム力が問われる。本講演では、再生療法を効果的に行うための私たちの取り組みを、エビデンスと症例を通じて共有させていただき、ご意見、ご批判を仰ぎたいと考えている。【石川記】

お申し込み・お問い合わせは

☎ 078-393-1809 E-mail ysng@doc-net.or.jp

政策研究会

財政破綻論の誤り

日時 9月13日(土) 午後4時～5時30分

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 関西学院大学 総合政策学部 教授 朴 勝俊(Park Seung-Joon)先生



「将来世代にツケを回さないために、財政健全化が必要だ」——こうした言説が、当たり前のように語られています。そして、「財政健全化」のために医療・福祉を削減するべきだ、負担を増やすべきだと当然のように言われています。しかし、それは本当に正しいのでしょうか？今回は、話題の著書『バランスシートでゼロからわかる 財政破綻論の誤り』の著者である朴勝俊先生をお招きします。

本講演では、モノやサービスをやりとりする経済と、貨幣が生成消滅する経済を統合的に見る視点から、医療・福祉政策にとっての意義をわかりやすく解説していただきます。財政問題に関心のある方はもちろん、医療現場で社会保障の将来に危機感を抱くすべての方々に、深い示唆を与える内容です。どうぞ奮ってご参加ください。

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み <https://x.gd/uoEjb>



来場参加 FAX 078-393-1820

兵庫県保険医協会歯科部会

「歯初診」「外安全」「外感染」「口管強」 「歯援診」「歯援病」 施設基準研究会

テーマ 第1部 「歯初診」「外安全」「外感染」
第2部 「口管強」「歯援診」「歯援病」施設基準対応研修

日時 11月30日(日) 午後2時～5時30分

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 ときわ病院 歯科口腔外科部長 足立 了平先生

定員 80人 参加費 1,000円(受講証当日発行します)

対象 歯科医師、会員医療機関スタッフ

お申し込み FAX 078-393-1802

歯科会員懇談会

歯科における『個別指導』の 現状と対策

日時 9月28日(日) 午前10時30分～午後0時30分

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 六甲法律事務所 松田 昌明弁護士/協会歯科社保講師陣

会員/
無料

お申し込み FAX 078-393-1802

兵庫県保険医協会

お問い合わせは ☎ 078-393-1801

<http://www.hhk.jp> 兵庫県保険医協会 🔍 検索